

銚子ダムだより

第23号

令和4年6月発行
島根県隠岐支庁県土整備局
管理課

電話（合庁） 2-9752
電話（ダム管理所）2-4362

銚子ダムの役割

今年も間も無く梅雨を迎えるにあたり、また、その後の台風シーズンに備えて銚子ダムからダムのはたらきについてお知らせいたします。

1. 大雨の際にダムに水を貯めます！

ダム建設時に過去の統計から八尾川流域に日雨量230mmの大雨が降ったときの洪水を想定してダムの容量が決められ建設されています。銚子ダムはあらかじめダム中央に開けられた穴（常用洪水吐）からダムに流入した水を自然放流しています。

洪水時にはダムが満水になるまでは、ダムの水位やその水圧に応じた常用洪水吐からの放流となり、ダム上流からの洪水量を絞って下流に放流することになります。

ダムに溜めきれなくなるほどの大雨が降った際には、非常用洪水吐から溢れ出て越流します（平成19年、令和2年、令和3年に発生）。越流が起きたとしても、越流するまで銚子ダムが洪水を貯めている間は、銚子川からの八尾川本川への流入量を抑えることにより、八尾川下流での急激な水位上昇を遅らせる効果を発揮します。

このように計画以上の豪雨が降れば、常用洪水吐の自然放流では追いつかず、ダムの水位はどんどんあがり、ダム上部にある非常用洪水吐からあふれ出て越流していきます。

ダムは際限なく水を貯められる機能を持ち合わせていませんので、銚子ダムでは気象庁等の雨量予測をもとに「いつ越流するのか？」を予測し、隠岐の島町役場に情報提供を行います。

【平常時の状況】



ダムに貯められる間は、この穴（常用洪水吐）から放流しています。ゲートはありません。

【非常用洪水吐から越流している状況】

令和3年8月撮影



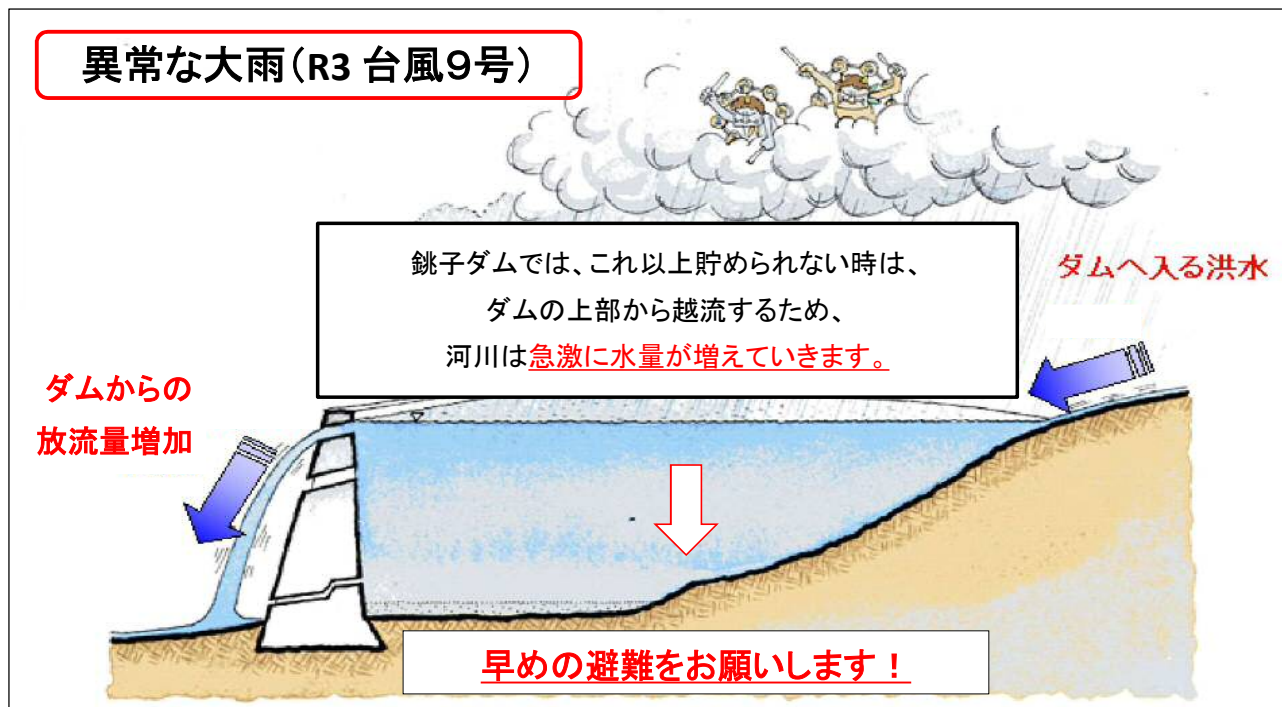
洪水を貯めきれなくなり、非常用洪水吐から越流している様子。

非常用洪水吐から越流すると、下流の川では水かさが増すため

非常に危険な状態になります。

隠岐の島町の避難指示等の防災情報に注意して、早めの避難をお願いします。

異常な大雨(R3 台風9号)



2. 水道水の確保と河川維持のための供給を行います。

銚子ダムは105万^{ちょうし}m³の利水容量(不特定容量96.1万^{りすいようりょう}m³、水道容量8.9万^{みず}m³)があります。これにより安定した水道用水が確保され、水の供給によって干ばつから河川環境を守るとともに、^{きとくしゅすい}既得取水(農業用水等)の安定化を図ります。



平成6年の渇水状況



銚子ダムの豆知識

令和3年8月9日の豪雨について

銚子ダム地点の雨量は466mm/24h、西郷観測所の雨量は164mm/24h降りました。結果的には集中的に降った雨が、比較的降雨の少なかった平野部に流れ込みました。島内でも局地的に降っている傾向が見受けられます。近年の異常気象が頻発している中、ダムの越流する時間を正確に予測することは難しい作業ですが、精一杯気象関係情報の収集と洪水解析を行い、早めの情報提供を行うよう努めてまいりますのでよろしくお願いします。

【問い合わせ先】

隠岐支庁県土整備局
維持管理部管理課
TEL: 08512-2-9752
FAX: 08512-2-9759